

## 英語

### 公募制推薦

すべて多肢選択問題および整序問題であり、和訳、英作文等の記述式問題は出題されません。問題形式は、Ⅰ．長文読解問題 7 問、Ⅱ．会話問題 5 問、Ⅲ．文法問題 4 問、Ⅳ．語彙問題 5 問、Ⅴ．整序問題 4 問です。ただし、ⅢとⅣの区別は絶対的ではなく、両方の要素が含まれる問題が出題されることがあります。語彙は中学・高校レベルを超えないよう留意し、Ⅰでは、そのレベルを超えと思われる単語の多くに訳語が付されます。

Ⅰ．長文読解問題は、600～700 語程度の比較的親しみやすい内容の文を読み、段落ごとの内容の正確な理解が問われます。全体の大意が問われることもあります。

Ⅱ．会話問題では、表現の文法的な正確さを問われることは少なく、むしろ会話の自然な流れにあう表現を選ぶ能力が問われます。

Ⅲ．文法問題およびⅣ．語彙問題は非常に基本的な文法の理解や語彙力を問います。

Ⅴ．整序問題では、英語構文の理解、そして、複数の文法的要素を矛盾なく論理的にまとめて文を作る能力、与えられた日本語訳を比較的やさしい英語であらわす表現力が問われます。

### 一般選抜

すべて多肢選択問題および整序問題であり、和訳、英作文等の記述式問題は出題されません。問題形式は、Ⅰ．長文読解問題 7 問、Ⅱ．会話問題 5 問、Ⅲ．文法問題 5 問、Ⅳ．語彙問題 5 問、Ⅴ．整序問題 5 問です。ただし、ⅢとⅣの区別は絶対的ではなく、両方の要素が含まれる問題が出題されることがあります。語彙は中学・高校レベルを超えないよう留意し、Ⅰでは、そのレベルを超えと思われる単語の多くに訳語が付されます。

Ⅰ．長文読解問題は、600～700 語程度の文を読み、段落ごとの内容の正確な理解が問われます。全体の大意が問われることもあります。

Ⅱ．会話問題では、表現の文法的な正確さを問われることは少なく、むしろ会話の自然な流れにあう表現を選ぶ能力が問われます。

Ⅲ．文法問題およびⅣ．語彙問題は基本的な文法の理解や語彙力を問います。

Ⅴ．整序問題では、英語構文の理解、そして、複数の文法的要素を矛盾なく論理的にまとめて文を作る能力、与えられた日本語訳を英語で柔軟に表現する思考力が問われます（本学入試問題全体のレベルと比べて多少難しい問題が一部含まれます）。